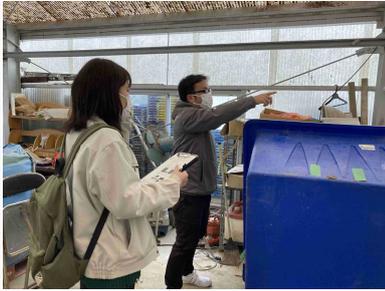


普及活動情勢報告（令和5年1月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

育苗技術の向上を目指して ～大豊ゆとりファーム育苗勉強会～



機械の使用について
確認する普及職員

1月5日、大豊ゆとりファームの水稲育苗勉強会が開催され、職員など4名が参加しました。

普及所からは、事前に聞き取った種子消毒や浸種などの作業工程について、病害を防ぐための改善案を提示し、作業の流れや全体のスケジュールを確認しました。また、作業のマニュアル化に向けて、機械の設定などを確認しました。

ゆとりファームでは勉強会を通じて改善した工程で、今年の育苗を実施する予定です。

今後も普及所は、現地指導や作業マニュアルの改訂により、ゆとりファームの水稲育苗事業の効率的な運営を支援していきます。

次年度の栽培に向けて！ ～土佐れいほく Confidence Flower 初会～



土壌消毒結果について
説明する普及指導員

1月12日、JA高知県土佐れいほく Confidence Flowerは初会を開催し、生産者4名、町1名、JA2名、普及所1名が参加しました。

JAからは、今年度の販売実績について、生産者からは、次作の栽培計画について説明がありました。

普及所は、2か月に1度実施した土壌の調査結果と改善方法、またSAWACHIの機能について周知を行いました。

生産者からは、「緑肥の栽培によって、土壌の物理性が改善していると感じている。次作でも継続し、総合的な土づくりを行っていききたい」との声が聞かれました。

今後も普及所は、JAと連携して花き農家の収入増加につながる取組を進めていきます。

直販所での有利販売に向けて

～嶺北地区農村女性リーダー協議会視察研修～



興味津々で商品を見る参加者

1月12日、嶺北地区農村女性リーダー協議会は徳島県鳴門市の「道の駅くるくるなると」、「農産物直販所えがお」と香川県丸亀市の「讃さん広場飯山店」を視察し、直販所での有利販売に向けた取組を学ぶとともに、リーダー間で情報交換をしました。

この取組は、協議会と普及所が連携して企画立案したもので、地区の女性リーダー11名が参加しました。

参加者からは、「パッケージが参考になる」「コロナ禍で活動が制限される中、参加できてよかった。今後も楽しく活動したい」、といった声が聞かれるなど、有利販売や活動の継続に意欲的な様子が見られました。

今後も普及所は、嶺北地区農村女性リーダーのスキルアップと、協議会のネットワーク活動を支援していきます。